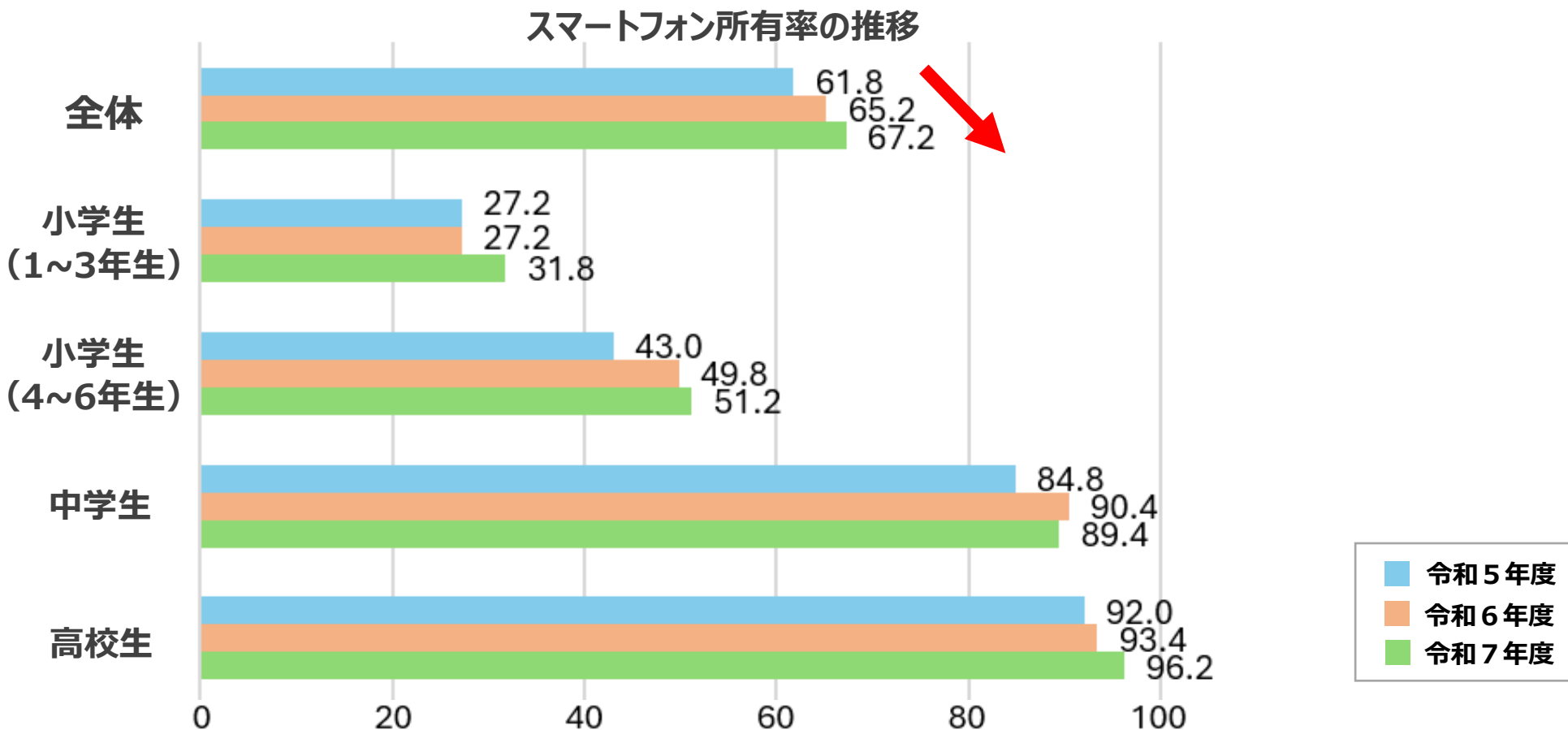


子供のスマートフォン所有率

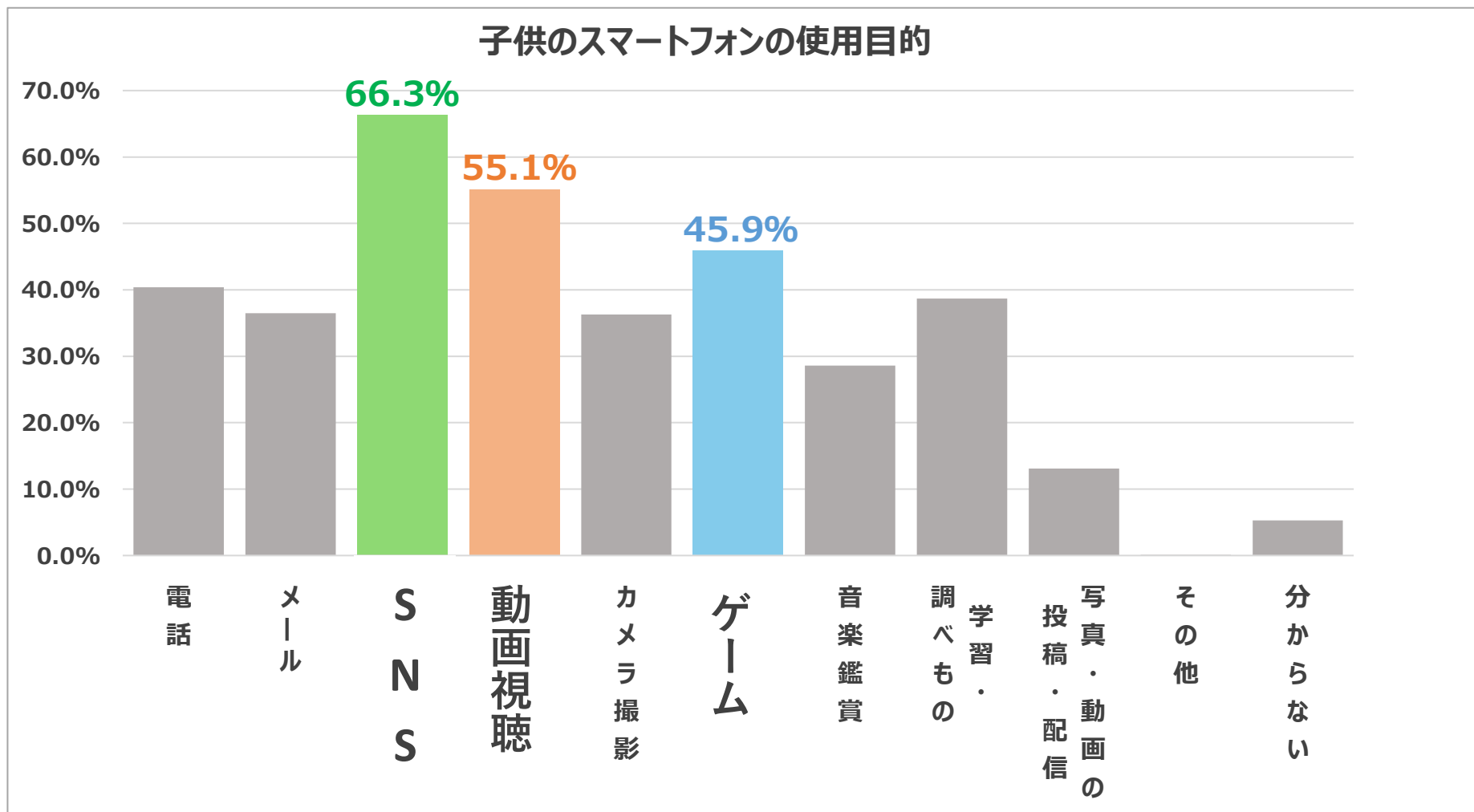
中学生では89.4%、高校生では96.2%がスマートフォンを所有しており、小学生においても、所有率が年々上昇



社会環境が変化中での子供の「今」

子供のスマートフォンの主な利用目的

「SNS」が66.3%と最も高く、次いで「動画視聴」が55.1%、「ゲーム」が45.9%となっている



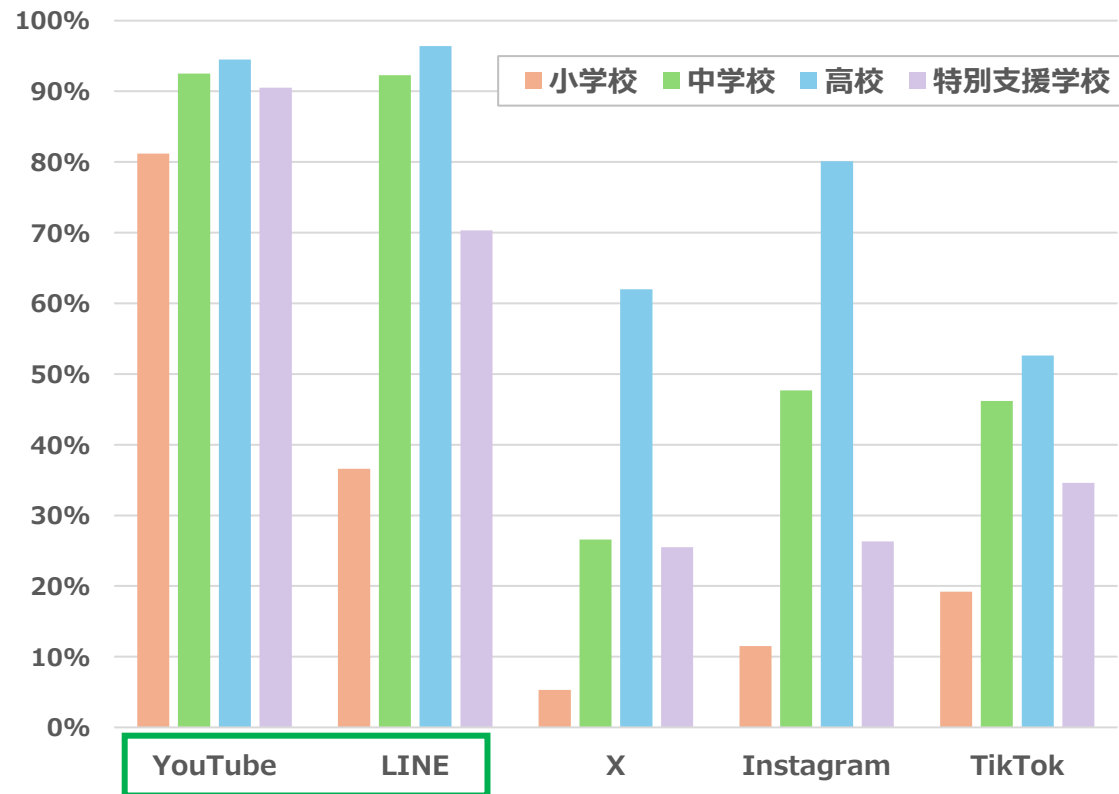
(資料) 東京都都民安全総合対策本部「家庭における青少年のスマートフォン等の利用等に関する調査報告書」(令和8年2月)を基に作成

社会環境が変化中での子供の「今」

子供のSNS利用状況

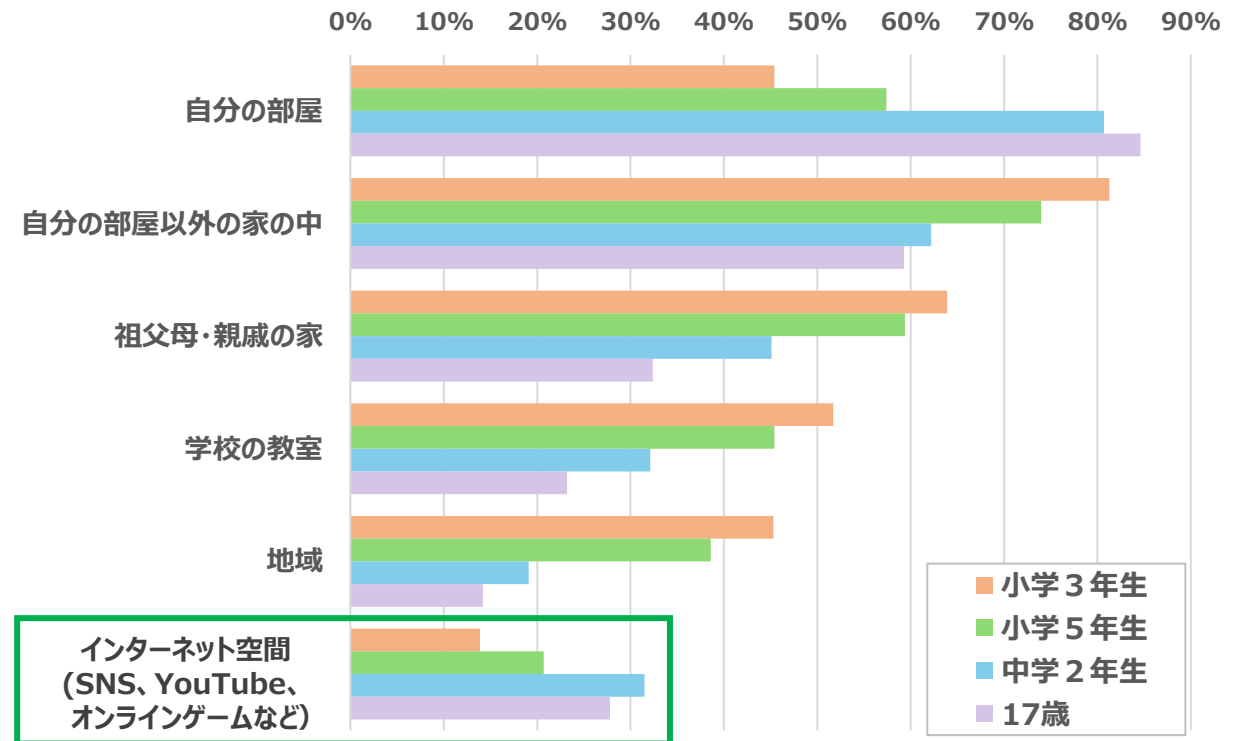
YouTubeの利用率は全年代で8割を超え、LINEは中高生の9割以上が使用
インターネット空間を居場所の一つと考える子供は、どの年代にも一定数存在

アプリ（SNS）を使っていますか



(資料) 東京都教育庁「令和7年度『児童・生徒のインターネット利用状況調査』調査報告書」
(令和8年4月)を基に作成

あなたにとっての居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)はどれですか



(資料) 東京都子供政策連携室『『とうきょう こども アンケート』報告書』(令和7年11月)を基に作成

社会環境が変化中での子供の「今」

国における議論

- こども家庭庁及び総務省において、SNS等を利用する青少年を保護するための対策について、有識者会議等により議論・検討

- 本年7月を目途に対策に関する「中間整理」を取りまとめる

⇒《対応の方向性》

- ・青少年インターネット環境整備法の改正
- ・民間企業をはじめ、国、自治体、教育機関、保護者、子供が導入・参照する「ガイドライン」を策定
- ・リテラシー向上の広報・啓発の実施

有識者会議における議論の概要

【基本認識】

- ・ 青少年の安全・安心の確保を前提に、**情報アクセスと利用制限のバランス**が必要
- ・ 単なる禁止ではなく、リテラシー教育も含めた青少年が安心・安全に新しいテクノロジーを活用できる環境の整備が重要
- ・ プラットフォームサービスごとに設計・特性が異なることから、**一律の使用年齢制限をかけることは望ましくない**

【プラットフォーム事業者を求める措置】

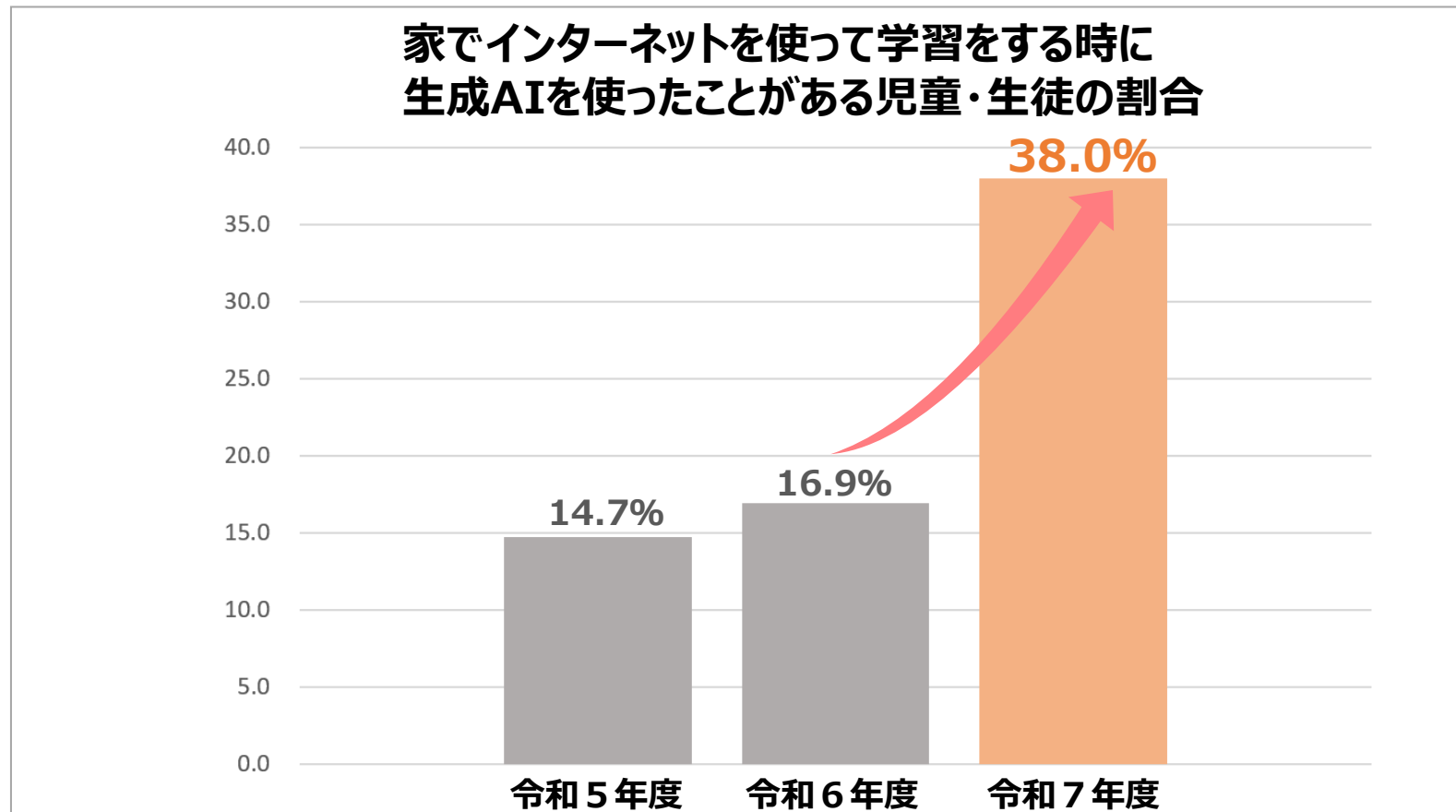
- ・ 各事業者に対しサービスのリスク評価と当該リスクに対応する機能制限、保護措置（使用適正年齢を含む）、必要なリテラシーの公表を求める等の仕組みを構築すべき
- ・ 多くの事業者において自己申告となっている状況を踏まえ、**年齢確認の厳格化**を検討すべき

（資料）総務省「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会青少年保護ワーキンググループ 第一次報告書案」（令和8年6月）を基に作成

社会環境が変化中での子供の「今」

学習時の生成AI利用

家での学習時に生成AIを使ったことがある児童・生徒の割合は、**前年度比2倍以上**



社会環境が変化中での子供の「今」

都庁モニター速報値

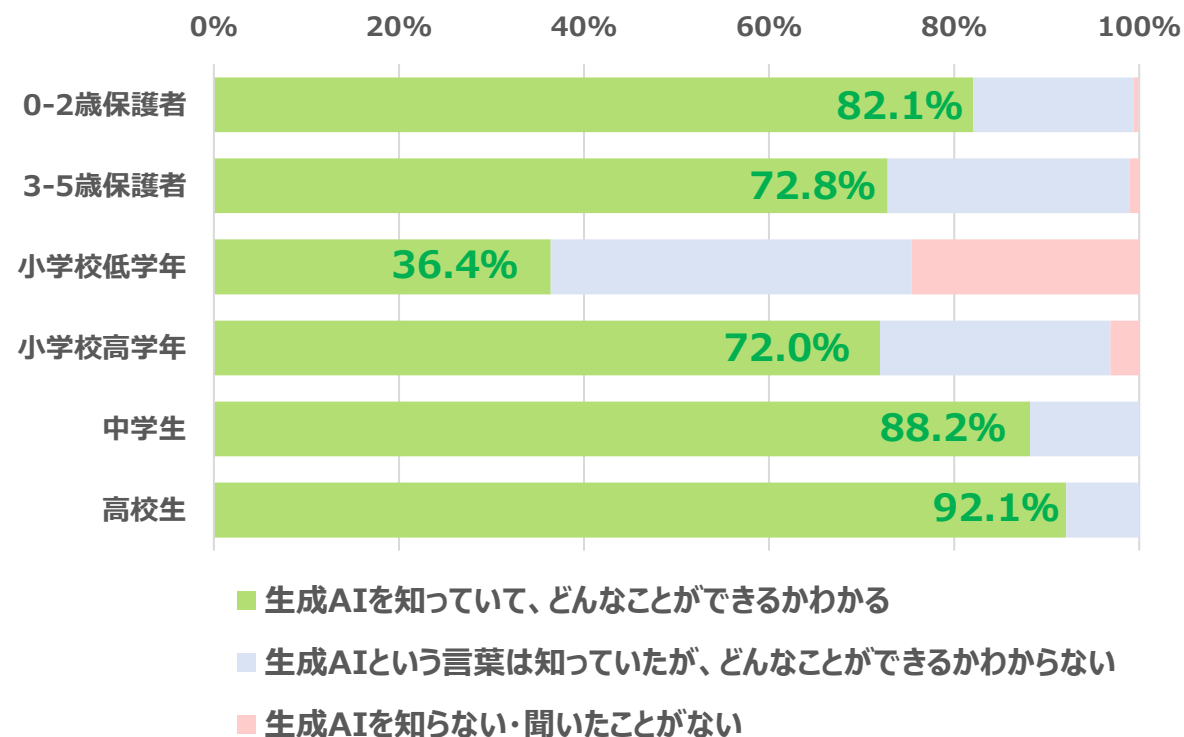
アンケート調査概要

- ◆ アンケート名
こども都庁モニター 令和8年度 第1回アンケート
- ◆ アンケート期間
令和8年5月23日(土)から5月31日(日)まで
- ◆ アンケート対象者
未就学児保護者、小学校低学年・高学年、中高生
- ◆ モニター数
1,200 人
- ◆ 回答者数
1,164 人
- ◆ 回答率
97.0%



Q 1 : 生成AIのことをどのくらい知っていますか

高校生の92.1%が、生成A Iを知っていて、どんなことができるかわかる

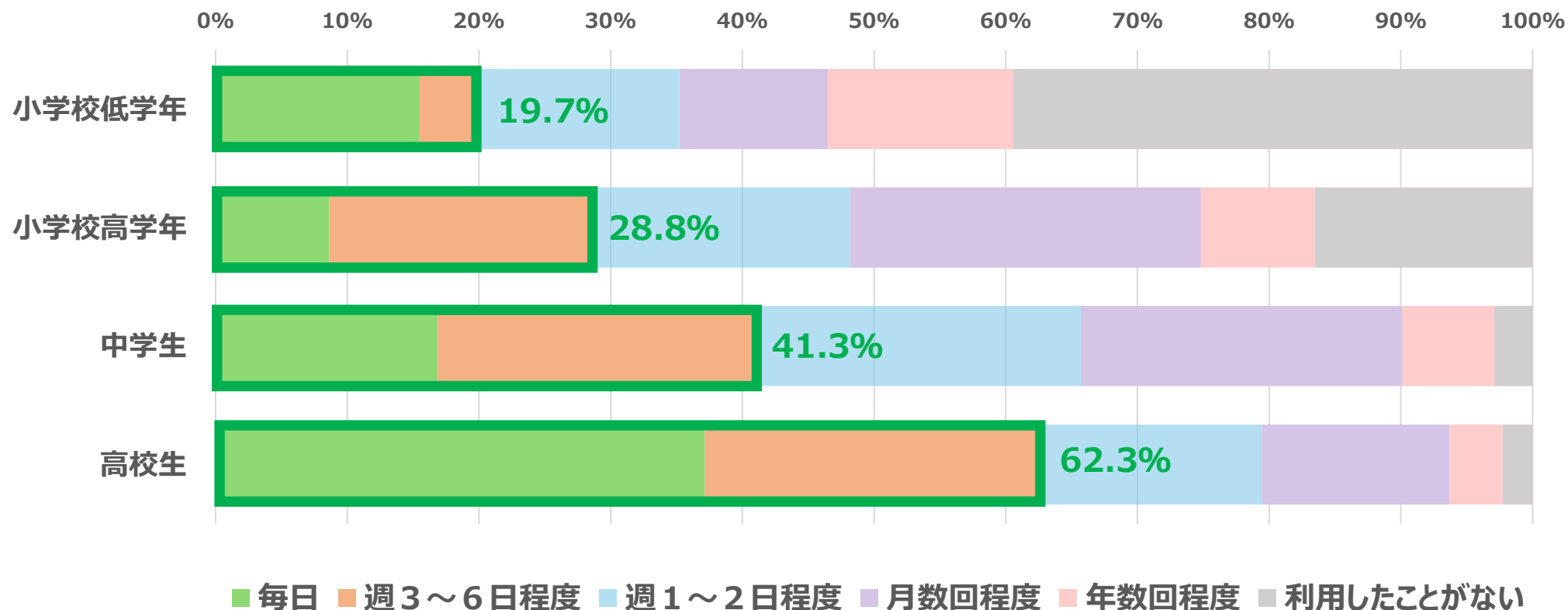


社会環境が変化中での子供の「今」

都庁モニター速報値

Q 2 : 日頃、どれくらい生成AIを使いますか

週3回以上、生成A I を使う子供の割合は、年齢とともに増加し、高校生においては62.3%



社会環境が変化中での子供の「今」

都庁モニター速報値

Q3：どんなことに生成AIを使いますか（複数回答）

「分からないことを調べる」が全ての年代で最も高く、次いで「アイデア出し」、
「文章を書いたり、要約・翻訳する」が高い傾向となっている

	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生
わからないことを調べる	72.1	85.3	71.9	74.9
アイデア出し	23.3	33.6	53.3	62.0
文章を書いたり、要約・翻訳する	30.2	30.2	49.7	64.3
自分の悩みごとを相談する	27.9	31.0	32.3	34.5
写真を作ったり加工する	39.5	21.6	26.9	25.7

単位：％

社会環境が変化中での子供の「今」

都庁モニター速報値

Q 4 : 生成AIの良い点と悪い点について、どんなことがあると思いますか（自由記述）

【良い点】

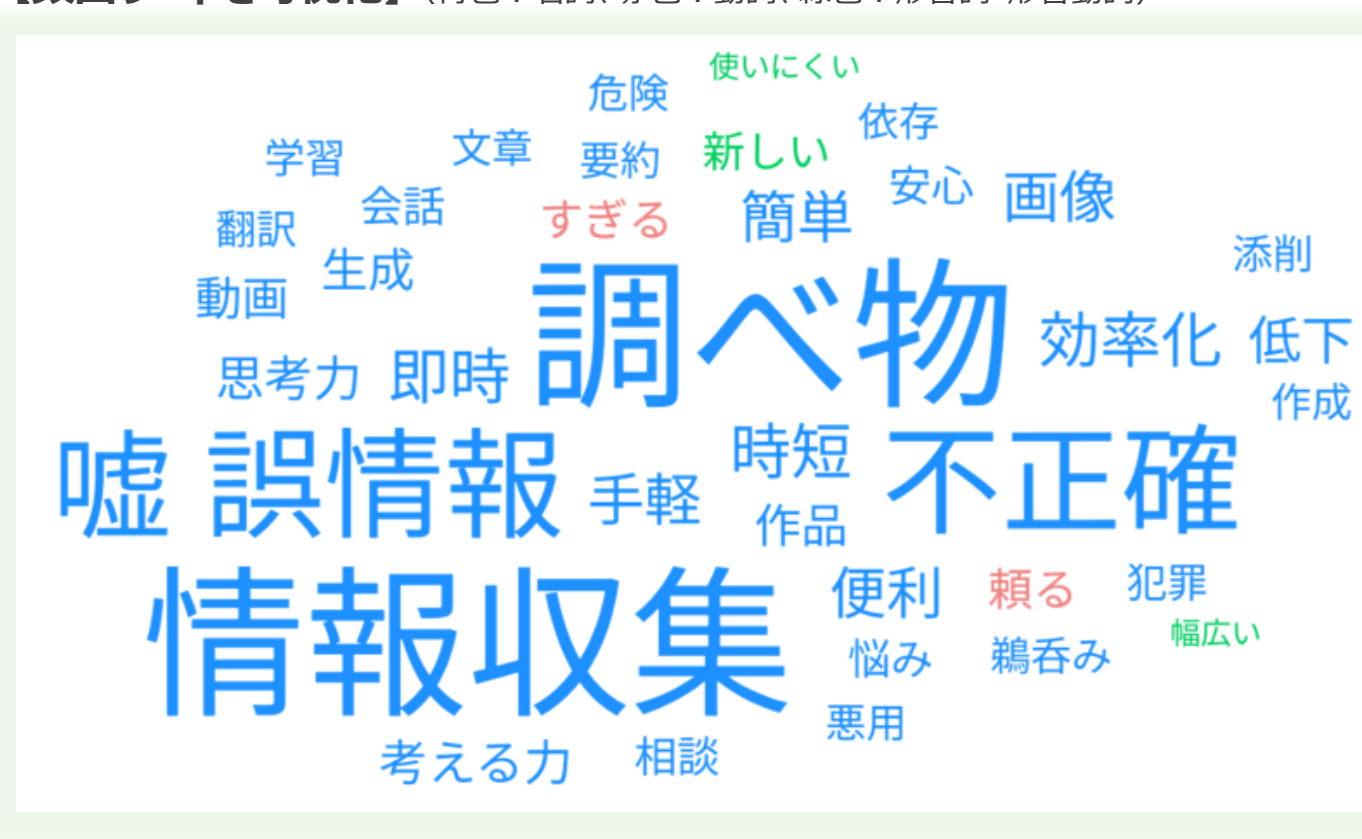
	頻出ワード	件数
1	情報収集・調べ物	246件
2	即時性・時短・効率化	154件
3	便利・手軽・簡単	141件
4	画像・動画・作品生成	101件
5	相談・悩み・会話／安心	87件

【悪い点】

	頻出ワード	件数
1	誤情報・不正確・嘘	209件
2	思考力・考える力低下	105件
3	依存・頼りすぎ・鵜呑み	76件
4	悪用・犯罪・危険	73件
5	フェイク・偽画像／見分け困難	40件

※小学校低学年・小学校高学年・中学生・高校生の回答
557件をCopilotにより集約

【頻出ワードを可視化】（青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞・形容動詞）



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）

社会環境が変化中での子供の「今」

都庁モニター速報値

Q 4 : 生成AIの良い点と悪い点について、どんなことがあると思いますか（自由記述から抜粋）

子供の意見

【良い点】

- わからないことがわかったり、会話相手がいない時に会話してくれる（小学校低学年）
- インターネット上から情報を集められるため、知らないことを知ったり、人間より計算能力が高いのが良い点（小学校高学年）
- アイデアをすぐに出してくれたり、相談や悩み事を気軽に相談できて、肯定してくれたり、学校の課題などを手伝ってくれる（中学生）
- アイデアは自分では思いつかないような視点から思いついてくれる。文章は、メールやレポートなどで、誤字脱字や語調、敬語などをきちんとしたものに訂正してくれる（高校生）

【悪い点】

- 悪いところは、AIでも間違えるところ（小学校低学年）
- 悪質なものに使われる場合がある。必ずしもホントのことを言わないときもある（小学校高学年）
- 手軽に利用できる分、すぐに頼ってしまいがちになってしまうので、自分で考えることと生成AIに頼るところのバランスがしっかりとれることが大切（中学生）
- 権利問題の発生や自身で考える力を育むことの妨げになるなどの問題がある（高校生）

乳幼児保護者の意見

- 毎日の生活で時間が限られている中、短時間で生成AIからアイデアを出してもらえることが、実生活の中でとても役立っている
- 間違った情報が混じっていて、子供には正確性が判断できないことや、独創性が失われる可能性がある

東京都の取組（教育庁）

利用ルールの普及啓発

- 児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、**SNS東京ルールを策定**（平成27年度）
- SNS東京ルールを基に、各学校は**SNS学校ルール**を作成し、**SNS家庭ルール**を作るよう啓発

SNS東京ルール

1. スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。
2. 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
3. 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
4. 個人情報をお教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
5. 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

情報活用能力の育成

- 児童・生徒がネットの特性やリスクを理解し、適切なコミュニケーション方法を学ぶことができる教材「**G I G A ワークブックとうきょう**」を展開
- 全都立学校に安全に利用可能な「**都立A I**」を導入
- **生成A Iのリテラシー教材**を展開

生成AIの「バイアス」って何？



データやアルゴリズム（処理方法）に偏りがあること。

生成AI
学習データ

バイアス

- 例
- 性別役割分担意識にとらわれた画像を生成する
 - 採用や人事の場面で特定の経歴や職歴を優先する

生成AIにも人間と同じように学習し、理解し、一歩引いた視点で考える必要がある。

「ハルシネーション」って何？



生成AIが事実と異なる情報を生成する現象。
学習データの偏りや、古いデータや誤ったデータを学習することにより起こる。

- 例
- 誤った歴史や、不正確な科学情報を生成する。
 - 質問の意図にそぐわない回答を生成する。

飛鳥時代は何年から？
550年です。
(誤った情報)

念のため、資料集も確認してみよう。



生成された情報をうのみにせず、自分で情報が正確かを判断しましょう。複数の資料にあたり事実を確認することも有効です。

初回の授業で使用する資料例

東京都の取組（都民安全総合対策本部）

ネッツグTokyo



- 令和7年度より、青少年とその保護者の更なるネットリテラシー向上の取組である「ネッツグTokyo（ネットとつながるGoodなミライ）」を開始
- 気運醸成から行動変容までを一体的に支援する仕組みとして、様々な啓発コンテンツを展開し、保護者が子供のネット利用環境を整えるための支援を実施

※ ネットやスマホでのトラブルに対する相談窓口「こたエール」を引き続き運営

ネッツグTokyo 4つのGoodなルール

- ① 学んで Good!** 正しい知識が、子どもを守る一番の味方に。
- ② 話して Good!** 「時間・場所・使い方」を子どもと一緒に話し合って決めよう。
- ③ 見守って Good!** 干渉ではなく“見守り”の姿勢がカギ。
- ④ 子どもを Goodにするのは アナタです!** Goodなルールを守り、子供と一緒に Goodなミライを築こう。

今年度新たに始まる啓発コンテンツ

ネット適正の出張講座ファミリeルール
未就学児と保護者向け講座

家族で作ろう**ネットのやくそく**
体験型イベント

子育て情報誌活用（あんふあん）
ネットリテラシー啓発記事

ネットリテラシー啓発
ポータルサイト「(仮)ネッツグサイト」